

前回番号研究会時の需要予測のその後の状況について

前回番号研究会開催時に行った需要予測と平成17年3月末時点の番号指定数との比較を行った結果、下表のように差が±1以内を中心とした広がりとなっており、予測値と番号指定の推移が概ね一致していると考えられる。

